

農業共済新聞 千葉版

掲載号	8 月 2 週号	
筆者	所属	農林総合研究センター
	職名及び氏名	研究員 押切 浩江
題名	食用ナバナ 品種の特性と活用法	
備考	【図説明】 品種と播種期別の食用ナバナ収穫期間（平成 20 年度試験）	

【本文】

食用ナバナは県南地域で広く栽培されているアブラナ科野菜で、花蕾とその茎葉を食用とします。早生から晩生まで様々な品種があり、これらの品種を組み合わせることにより、11月上旬頃から4月頃まで収穫ができます。

食用ナバナの品種と播種期について、そのポイントをまとめました。

① 品種の早晚と播種期

下図のように、同じ時期に播種しても、品種により収穫開始期が1ヶ月近く異なります。また、同一品種でも播種期を遅らせることで、収穫期間が遅くなります。品種の早晚と播種期を組み合わせることで収穫期間を拡大することができます。

② 品種による収穫期の幅

頂花蕾と側花蕾が同時に収穫できる品種は、収穫期間が長く、分散する傾向があります。また、播種期が遅くなると収穫期間の幅はやや短く、集中する傾向があります。各経営の労力に合わせ、品種や播種期を選択してください。

③ 根こぶ病抵抗性品種

食用ナバナ栽培では根こぶ病が問題になります。根こぶ病発生圃場では、品種名に「CR」が付いている根こぶ病抵抗性品種を使用します。本病が発生した株を圃場にすき込むと病気の原因となる菌が増加するため、残さは圃場外に持ち出して処分してください。

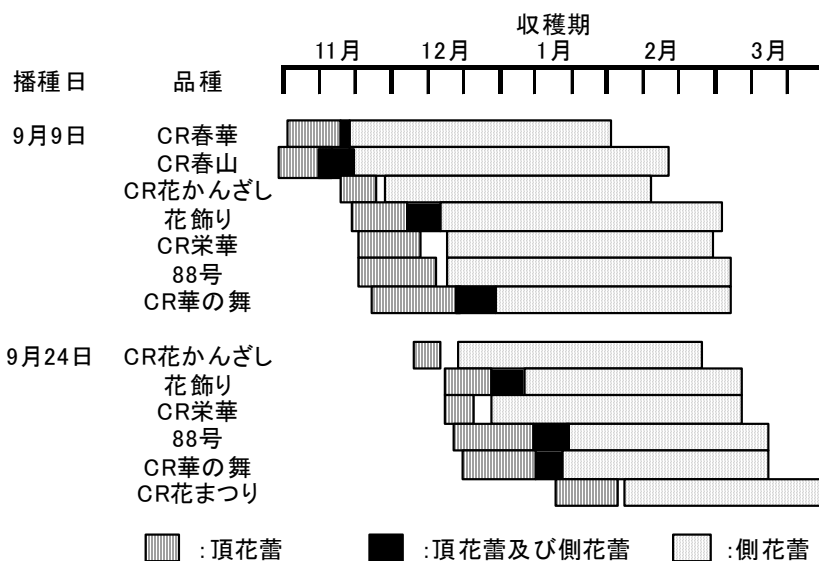


図 品種と播種期別の食用ナバナ収穫期間（平成 20 年度試験）